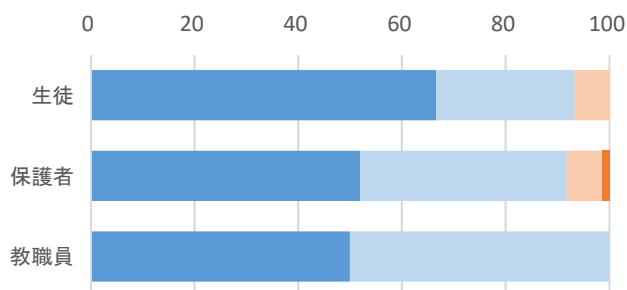


質問 1 全般 に関する項目

- (生徒) あなたは、楽しく学校に通っていますか。
 (保護者) お子さんは、楽しく学校に通っていますか。
 (教職員) 子ども達は、楽しく学校に通っていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
1	A	B	C	D
生徒	66.7	26.7	6.7	0.0
保護者	52.1	39.7	6.8	1.4
教職員	50.0	50.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的な意見は生徒93.3%、保護者91.8%、教職員100%と高く、大多数の生徒が楽しく学校に通えていることが伺え、保護者からも一定の評価をいただいた。

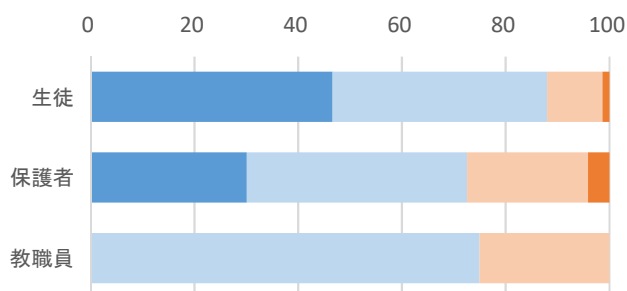
●一方で、否定的な意見は生徒6.7%、保護者8.2%と少なくない数も見られ、生徒と保護者の数がほぼ一致することから、子どもが楽しくないと感じている状況を保護者も一緒に感じていると考える。今回の教職員アンケートでは読み取れなかったことから、今後、学校ではさらにきめ細かな生徒観察に努め、意見を聞きながら原因を探り、組織的、計画的に授業や諸活動を一生懸命行う楽しい学校づくりを進めたい。

質問 2 全般 に関する項目

- (生徒) あなたは、現在夢や目標を持って生活していますか。
 (保護者) お子さんは、現在夢や目標を持って生活していますか。
 (教職員) 子ども達は、現在夢や目標を持って生活していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
2	A	B	C	D
生徒	46.7	41.3	10.7	1.3
保護者	30.1	42.5	23.3	4.1
教職員	0.0	75.0	25.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的な意見は生徒88.0%、保護者72.6%、教職員75%とやや高かった。保護者、教職員がほぼ同じことから、大人が考えている以上に子どもは夢や目標をちゃんと持っていることがわかった。

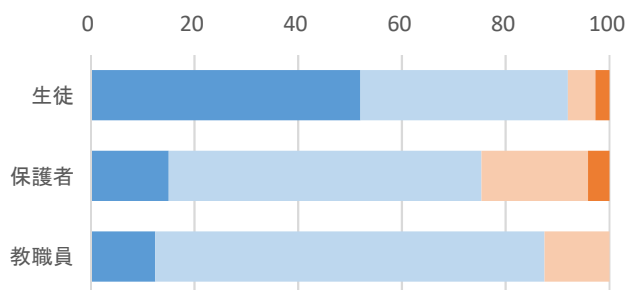
●しかし、すべての生徒が夢や目標を持っているわけでもないことから、今後キャリア教育等で進路や職業について考える機会を増やすとともに、今熱中することを見つけられるよう外部講師の話を聴いたり、読書や調べ学習をするなど多様な考えに触れる機会を増やしていきたい。

質問 3 学習 に関する項目

- (生徒) 授業は分かりやすいですか。
 (保護者) お子さんは、授業が分かりやすいと言っていますか。
 (教職員) 子ども達に、分かりやすい授業を展開していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
3	A	B	C	D
生徒	52.0	40.0	5.3	2.7
保護者	15.1	60.3	20.5	4.1
教職員	12.5	75.0	12.5	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的な意見は生徒92.0%、保護者75.3%、教職員87.5%と高かった。教職員と生徒の値がほぼ同じであった。

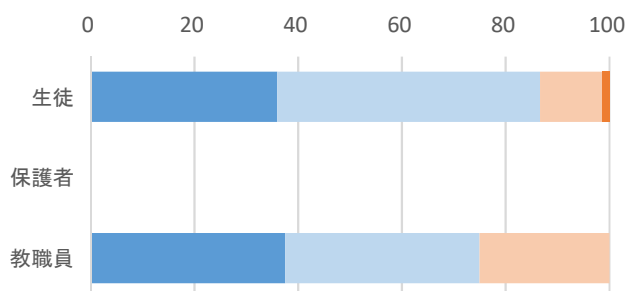
●一方で、否定的な意見も少なからずあり、特に保護者は24.6%と、子どもの意見だけでなく授業参観等で実見した感想も含まれていると感じられた。また、教職員も12.5%と、自己反省と見られる回答があった。今後、授業力をアップさせる授業研修会を活性化させ、校内での研究に努めるとともに外部研修にも積極的に参加し、わかる、できる授業の実現を目指す。

質問 4 学習 に関する項目

- (生徒) あなたは、授業で話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。
 (保護者) 【※ 児童生徒・教職員のみ回答】
 (教職員) 子ども達は、授業で話し合い活動に積極的に取り組んでいますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
4	A	B	C	D
生徒	36.0	50.7	12.0	1.3
保護者				
教職員	37.5	37.5	25.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○生徒の肯定的な意見が86.7%と、積極的に話し合いに参加している生徒は多い。

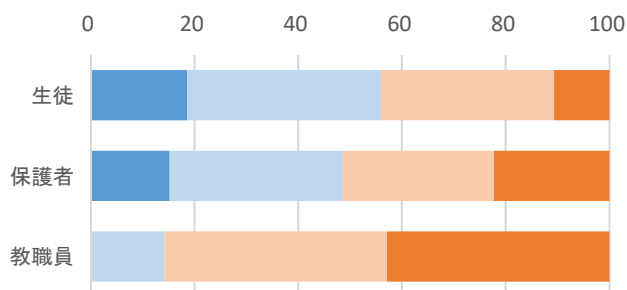
●しかし、教職員の肯定的意見が75%と、話し合いについて生徒と教職員に認識のずれがある。原因は、話し合いのレベルのずれとも考えられるため、今後話し合いを段階を追ってレベルアップさせたり、話し合う機会を増やしたりして、話し合いが普通にできる生徒を育てていきたい。

質問 5 | | |----| | 学習 | |----| に関する項目

- (生徒) あなたは、家庭学習を毎日平均2時間以上していますか。
 (保護者) お子さんは、家庭学習を毎日平均2時間以上していますか。
 (教職員) 子ども達は、家庭学習を毎日平均2時間以上していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
5	A	B	C	D
生徒	18.7	37.3	33.3	10.7
保護者	15.3	33.3	29.2	22.2
教職員	0.0	14.3	42.9	42.9

(%)



<学校コメント>

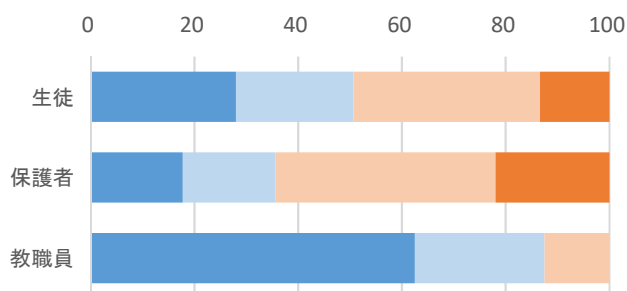
- 1日平均2時間以上と回答した人が、生徒56%、保護者48.6%、教職員14.3%と、中学生として非常に低い。また、生徒・保護者の値がほぼ一致することから家庭での状況はアンケート通りと考えられる。
- 家庭学習については、長時間勉強できる生徒と、できない生徒に分かれてしまっている。また、教職員と、生徒・保護者の間に認識の大きな差が見られるが、これは、学習時間に比べ学習量や質が低いと教職員がとらえているためと考えられる。今後、教科課題等を見直すとともに、まずC段階の生徒を改善させて、全体的な底上げを図る。

質問 6 | | |----| | 学習 | |----| に関する項目

- (生徒) あなたは、読書の習慣はありますか。
 (保護者) お子さんは、読書の習慣はありますか。
 (教職員) 子ども達は、朝の読書にしっかりと取り組んでいますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
6	A	B	C	D
生徒	28.0	22.7	36.0	13.3
保護者	17.8	17.8	42.5	21.9
教職員	62.5	25.0	12.5	0.0

(%)



<学校コメント>

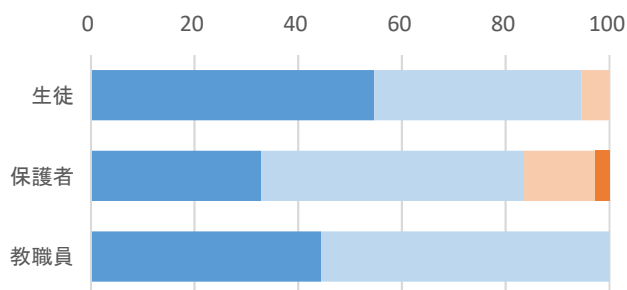
- 本校では、朝自習の時間に読書を推奨しているため、教職員の肯定的意見が87.5%と高かったと考えられる。
- 実際、読書の「習慣」といえるほど取り組んでいるかは、肯定的意見が生徒50.7%、保護者35.6%と低いことから、家庭では読書はあまりしていないことがうかがえる。その分の時間が後述するゲームやネットなどに使われているので、家庭生活の改善と同時にメディアコントロールも指導していく必要がある。

質問 7 礼儀・思いやり に関する項目

- (生徒) あなたは、周りの人に気持ちの良いあいさつをすることができますか。
 (保護者) お子さんは、気持ちの良いあいさつをすることができますか。
 (教職員) 子ども達は、気持ちの良いあいさつをすることができますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
7	A	B	C	D
生徒	54.7	40.0	5.3	0.0
保護者	32.9	50.7	13.7	2.7
教職員	44.4	55.6	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○本校生徒の特徴でもあるあいさつについて、肯定的意見は生徒94.7%、保護者83.6%、教職員100%と高かった。

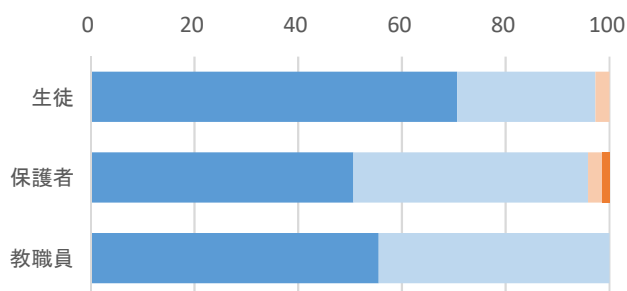
●一方、保護者の否定的意見が16.4%と、少なくない数が見られた。考えられる要因は、あいさつをしない、してもハキハキせず元気のないあいさつであったり、きちんと相手を見たあいさつでなかったりと、相手が気持ちよくなるあいさつになっていないと保護者が捉えているからではないかと考える。教職員も積極的にあいさつし、生徒達のあいさつを自然に促すようにして、気持ちの良いあいさつを広めたい。

質問 8 礼儀・思いやり に関する項目

- (生徒) あなたは、社会のきまりを守って生活できていますか。
 (保護者) お子さんは、社会のきまりを守って生活できていますか。
 (教職員) 子ども達は、社会のきまりを守って生活できていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
8	A	B	C	D
生徒	70.7	26.7	2.7	0.0
保護者	50.7	45.2	2.7	1.4
教職員	55.6	44.4	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

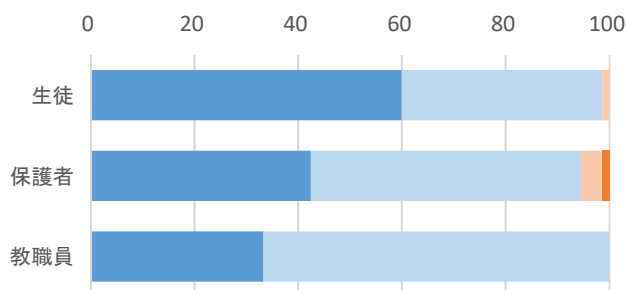
○こちらも本校生徒の美德である、きまりを守ることについて問うたものである。肯定的意見が生徒97.4%、保護者95.9%、教職員100%と非常に高い。学校生活でも、ルールを守らないなどの生徒指導上の課題はほぼなかった。

質問 9 礼儀・思いやり に関する項目

- (生徒) あなたは、周りの人に思いやりを持って接することができますか。
 (保護者) お子さんは、思いやりを持って接することができますか。
 (教職員) 子ども達は、思いやりを持って接することができますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
9	A	B	C	D
生徒	60.0	38.7	1.3	0.0
保護者	42.5	52.1	4.1	1.4
教職員	33.3	66.7	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○こちら本校生徒の美德である、思いやりについて問うたものである。肯定的意見が生徒98.7%、保護者94.6%、教職員100%と非常に高い。

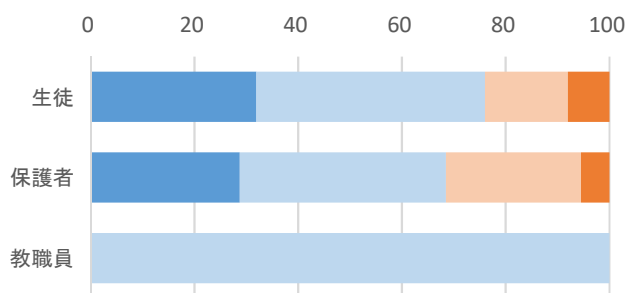
●別のアンケートになるが、保護者が本校に求めることの第1位は「思いやりのある子を育てる」であった。そのくらい思いやりに対して保護者の関心が高い。今回の否定的意見5.5%を真摯に受け止め、道徳や学活、その他の活動を通して思いやりの心を育てていきたい。

質問10 健康・運動 に関する項目

- (生徒) あなたは、規則正しい睡眠がとれていますか。
 (保護者) お子さんは、規則正しい睡眠がとれていますか。
 (教職員) 子ども達は、規則正しい生活ができていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
10	A	B	C	D
生徒	32.0	44.0	16.0	8.0
保護者	28.8	39.7	26.0	5.5
教職員	0.0	100.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

●本校の課題である睡眠については、あまり良い結果とはならなかった。肯定的意見が生徒76%、保護者68.5%と、生徒と保護者の回答がほぼ一致していることから、家庭の実態に近いと考えられる。約3割の生徒が規則正しい睡眠をとれていない状態であり、その状態で次の日の学校生活や日常生活を続けることは、体や心にかかなり負担が生じさせてしまっていると考えられる。

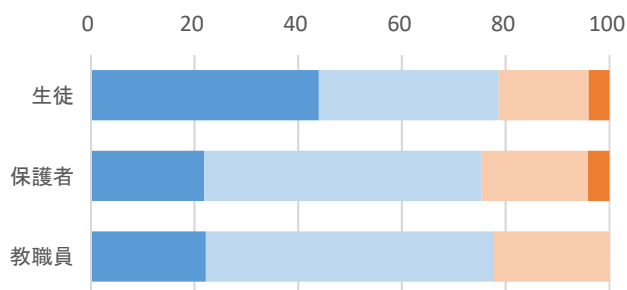
●今後は、一因となっているメディアコントロールの指導とともに、睡眠の重要性を伝えるなど、自覚を促しつつ、自分の生活を自分がコントロールできるよう家庭と連携していく。

質問11 健康・運動 に関する項目

- (生徒) あなたは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。
 (保護者) お子さんは、間食を控え、バランスの良い食事をとっていますか。
 (教職員) 子ども達は、給食を残さずに食べていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
11	A	B	C	D
生徒	44.0	34.7	17.3	4.0
保護者	21.9	53.4	20.5	4.1
教職員	22.2	55.6	22.2	0.0

(%)



<学校コメント>

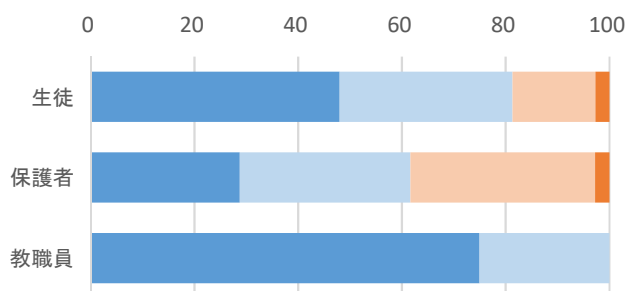
●想定していたより低い結果であるといえる。生徒、保護者、教職員がほぼ一致していることから、かなり実態に近い結果だといえるが、約2割以上の生徒が間食等でバランスの良い食事ができていない。中学時代は、第2次性徴期であり、健康的な体づくり心づくりのためにも、しっかり食べ、しっかり運動して、しっかり寝なくてはならない。家庭と連携し、授業や行事等の時間も使って生徒たちに気付かせ、改善していく。

質問12 健康・運動 に関する項目

- (生徒) あなたは、めあてを持って運動をしていますか。
 (保護者) お子さんは、めあてを持って運動をしていますか。
 (教職員) 子ども達は、部活動に意欲的に取り組んでいますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
12	A	B	C	D
生徒	48.0	33.3	16.0	2.7
保護者	28.8	32.9	35.6	2.7
教職員	75.0	25.0	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

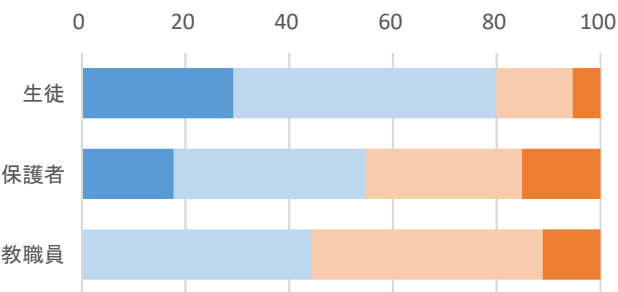
○教職員は、部活動に質問が限定されているため非常に肯定的意見が高い。
 ●しかし、保護者の結果を見ると、否定的意見が38.3%ととても高い。これは、子どもが部活動等を行っているが、家庭ではあまり自発的な運動を行っていない姿を見ているからではないかと考えられる。また、アンケート実施時期が12月だったこともあり、3年生は夏に部活動を引退しているため、猶更その傾向が出たのではないかと想定される。

質問13 健康・運動 に関する項目

(生徒) あなたは、家庭でメディアコントロール※はできていますか。
(保護者) お子さんは、ご家庭でメディアコントロール※はできていますか。
(教職員) 子ども達は、家庭でのメディアコントロール※はできていますか。
(※ゲーム、動画視聴は1日1時間以内。ノーメディアデーの日は0時間)

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
13	A	B	C	D
生徒	29.3	50.7	14.7	5.3
保護者	17.8	37.0	30.1	15.1
教職員	0.0	44.4	44.4	11.1

(%)



<学校コメント>

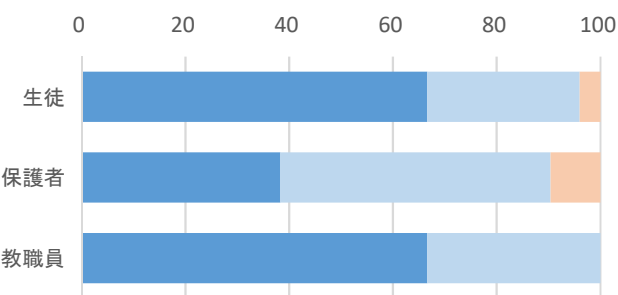
●本校の課題であるメディアコントロールは、結果から約半分ほどができていないことがわかる。また、肯定的意見が、生徒80%に対し、保護者54.8%、教職員44.4%と、子どもと大人の見方に大きなずれが生じてしまっているのが特徴的である。
○きちんと守っている子どもに多い家庭状況は、親と子が家庭内ルールを一緒に決めて、それを親子で一貫して守っている状況である。ルール作りに本人も参加するというのが大事だと考えるので、引き続き生徒への健康指導、生活指導を行うとともに、家庭の協力を呼びかけたい。

質問14 学校運営 に関する項目

(生徒) 先生は、生徒一人一人の様子をとらえ、生徒の努力を認めて生かすように努めていますか。
(保護者) 先生は、生徒一人一人の様子をとらえ、生徒の努力を認めて生かすように努めていますか。
(教職員) 学校は、子ども一人一人の様子をとらえ、その子の努力を認めて生かすように努めていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
14	A	B	C	D
生徒	66.7	29.3	4.0	0.0
保護者	38.4	52.1	9.6	0.0
教職員	66.7	33.3	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

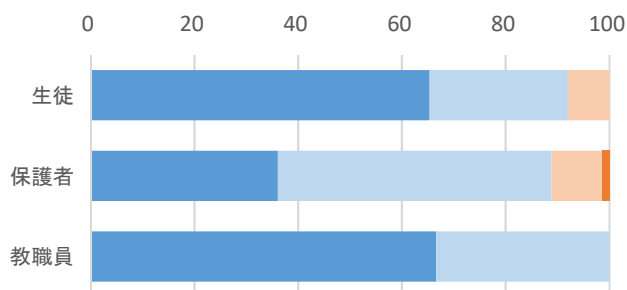
○肯定的意見が生徒96.0%、保護者90.4%、教職員100%と非常に高い。
●一方で、否定的意見が生徒4.0%、保護者9.6%と少なからずあった。教職員が0%であることから、まだ見えていないところがあると真摯に受け止め、一人一人を観察し、適切な助言や賞賛を通じて生徒の自己肯定感を高め、さらなる向上につなげていきたい。

質問15 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
 (保護者) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。
 (教職員) 学校は、いじめがない温かな学級づくりに努めていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
15	A	B	C	D
生徒	65.3	26.7	8.0	0.0
保護者	36.1	52.8	9.7	1.4
教職員	66.7	33.3	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的意見が生徒92.0%、保護者88.9%、教職員100%と高い。

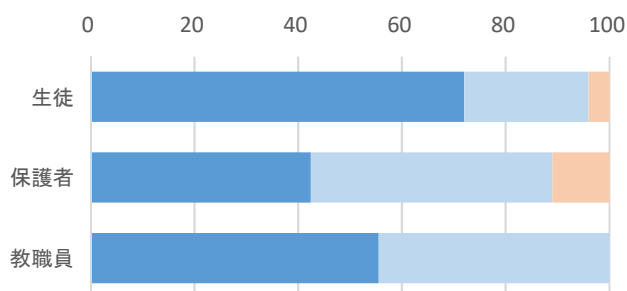
●一方で、否定的意見が生徒8.0%、保護者11.1%と少なからずあった。教職員が0%であることから、まだ見えていないところがあると真摯に受け止め、一人一人を観察し、生活アンケートなどもしっかり行って把握に努めたい。また、集団モラル向上を図る学級活動の充実や、人権を考える道德の実践、また対人スキルを高めるソーシャルスキルトレーニングなど個人や集団の力もアップさせていきたい。

質問16 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、生徒の悩みや相談に対して親身になって対応していますか。
 (保護者) 学校は、お子さんの悩みや相談に対して親身になって対応していますか。
 (教職員) 学校は、子ども達の悩みや相談に対して親身になって対応していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
16	A	B	C	D
生徒	72.0	24.0	4.0	0.0
保護者	42.5	46.6	11.0	0.0
教職員	55.6	44.4	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

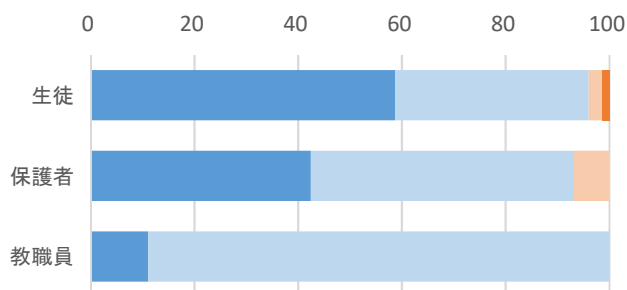
●上記質問15とよく似た結果となった。これは、いじめのない温かな学級づくりは、生徒の悩みや相談に対して親身になって対応することと密接に関係するということである。学校はこの結果を真摯に受け止め、悩みや相談がしやすい人間関係作りに努めるとともに、相談を聞くときのスキル等について研修し、家庭とも連携を図りながら組織的に解決に尽力していきたい。

質問17 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、生徒の要望に迅速に対応していますか。
 (保護者) 学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。
 (教職員) 学校は、保護者や地域の要望に迅速に対応していますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
17	A	B	C	D
生徒	58.7	37.3	2.7	1.3
保護者	42.5	50.7	6.8	0.0
教職員	11.1	88.9	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的意見が生徒96.0%、保護者93.2%、教職員100%と高かった。施設の修理等の要望については、その都度、市教育委員会と相談しながら対応ができています。また、校内で対応できるところは、会議等で前向きに対策を考えている。

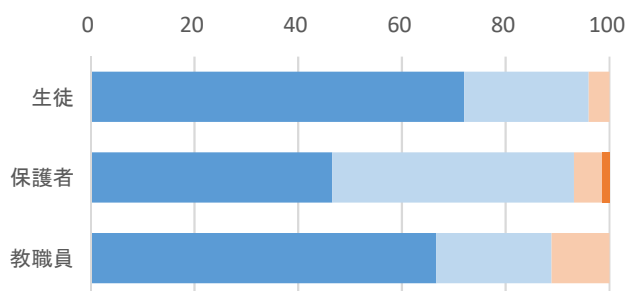
●一方で、金銭面や時間の関係で、どうしても即対応ができていないところがあることも事実であり、こちらは継続してタイミングを見ながら関係機関と協力し解決できるように尽力したい。

質問18 学校運営に関する項目

- (生徒) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。
 (保護者) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。
 (教職員) 学校は、教育活動の様子を各種便りや、学校ホームページ等で分かりやすく伝えていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
18	A	B	C	D
生徒	72.0	24.0	4.0	0.0
保護者	46.6	46.6	5.5	1.4
教職員	66.7	22.2	11.1	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的意見が生徒96.0%、保護者93.2%、教職員88.9%と高かった。新型コロナウイルス感染症予防のため、生徒の活動の様子を見る機会が減り、各種便りや学校ホームページを見ていただいているようである。

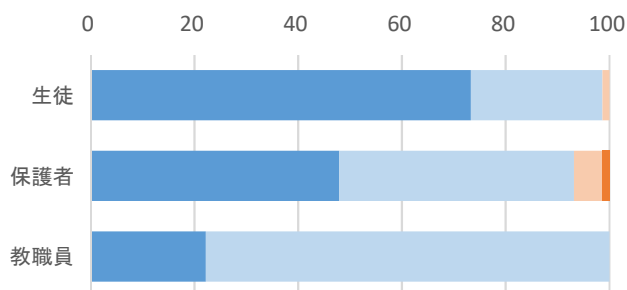
●内容は、行事があったときに紹介することが多いが、普段の授業の様子も知りたいというご要望もいただいているため、無理のない範囲で伝えていきたい。

質問19 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
 (保護者) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。
 (教職員) 学校は、教育環境を整備し、美化・安全管理に気を配っていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
19	A	B	C	D
生徒	73.3	25.3	1.3	0.0
保護者	47.9	45.2	5.5	1.4
教職員	22.2	77.8	0.0	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的意見が生徒98.7%、保護者93.1%、教職員100%と非常に高い。施設の修理等については、今年度はカーブミラー3本交換、外灯修理、道路補修、校内トイレ修理、校庭整備用の車の調達、校地内除草、植木剪定など、その都度、市教育委員会、関係機関と相談しながら対応ができています。

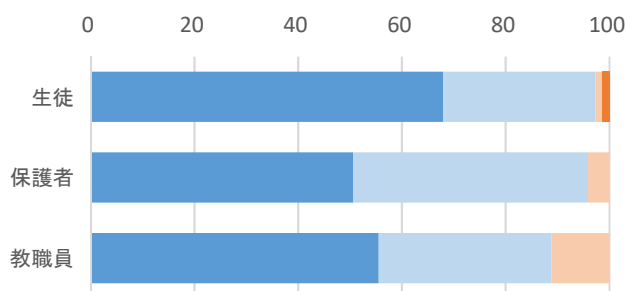
●20年以上使用している机や椅子などの備品、プールの壁面、プールサイドの補修、体育館屋根の補修など、多額の費用に係る補修についても、安全面を優先しながら関係機関と相談して実施していきたい。

質問20 学校運営 に関する項目

- (生徒) 学校は、家庭や地域との連携を適切に行っていますか。
 (保護者) 学校は、PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。
 (教職員) 学校は、PTA、地域、関係機関との連携を適切に行っていますか。

	あてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	あてはまらない
20	A	B	C	D
生徒	68.0	29.3	1.3	1.3
保護者	50.7	45.2	4.1	0.0
教職員	55.6	33.3	11.1	0.0

(%)



<学校コメント>

○肯定的意見が生徒97.3%、保護者95.9%、教職員88.9%と非常に高い。各種体験行事に地域の方を講師として招いたり、体験活動で地域に出かけたりしていることや、PTA奉仕活動などの一斉作業などの活動により、地域やPTAと協力した活動を行っている。